

令和6年9月 吉日

各位

公益財団法人日本タイ協会

令和6年度 第2回オンラインセミナー開催のご案内

拝啓 平素は当協会活動に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、令和6年度 第2回目のオンラインセミナーを下記の通り開催いたします。

1. 日時： 令和6年10月11日(金) 15:00 ~ 15:50 (14:45 アクセス開始予定)
(タイ時間 13:00 ~ 13:50)
2. 会場： オンライン (ZOOM) にて
(予めZOOMアプリケーションの設定などご準備の程お願い申し上げます。)
3. 講師： 大石 友子 氏
(広島大学大学院 国際協力研究科 博士課程後期。タイ王国スリン県及びブリラム県のクアイの人々とゾウが暮らす地域で、人とゾウの関係について文化人類学的なフィールドワークを実施。研究の関心としては、ゾウを取り巻くケア、環境と開発、知識の生成など。コロナ禍における観光施設の閉鎖で失業したゾウに対し、支援活動も実施している。ご著書『モア・ザン・ヒューマン：マルチスピーシーズ人類学と環境人文学』(共著))
4. 演題： 「現代タイにおけるゾウとゾウ使用の関係」
5. 定員： 100名 (システムの都合上、定員になり次第、締め切りとさせていただきます。何卒ご容赦の程お願い申し上げます。)
6. 参加費： 無料
7. お申込み： お手数ですが協会アドレス宛メール下さるか又は右のフォーム (QRコード) よりお申込み下さい。
e-mail: nihon-thai.kyokai@joy.ocn.ne.jp
8. 締め切り： 10月9日(水) (10月10日迄にZoom 関連情報をe-mail でお送りします)



今回は、広島大学の博士課程後期の^{大石}友子様を講師にお迎えし「現代タイにおけるゾウとゾウ使用の関係」をテーマにご講演を頂戴します。ゾウはタイを代表する動物(国獣)で、人々の生活に深くかかわってきました。かつては人や物資の輸送に使用されてきましたが、現在では観光業で活躍しています。大石様は、ゾウとゾウ使用の関係について研究されており、東北タイのゾウの村でフィールドワークを行うとともに、学会、講演会を通じて発表されています。皆様のタイ文化理解の一助になれば幸いです。

敬具

なお、ご不明な点等ございましたら、日本タイ協会事務局(担当:長谷川)、TEL: 03-3518-9473、メール e-mail: nihon-thai.kyokai@joy.ocn.ne.jp 宛までご連絡をお願い致します。